

人工膝関節置換術を受ける患者さんへ



患者名 経過	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5～7日目	術後8～14日目	術後15日目～		
日付	/	/	/		/	/	/	/	/ ～ /	/ ～ /	/		
患者の 達成 目標	・ 不安の軽減ができ、手術にのぞむことができる 		・ 体温、脈、血圧が安定する		・ 内服薬等で痛みを軽減し、苦痛なく過ごすことができる ・ 合併症(血栓・麻痺)がなく経過できる		・ 内服薬等で痛みを軽減し、苦痛なく生活やリハビリを行うことができる			・ 内服薬等で痛みを軽減し、苦痛なく生活やリハビリを行うことができる ・ 転倒しないよう安全にリハビリをすすめることができる ★最終目標は杖歩行 日常生活の中でできることを増やし、退院に向けて準備ができる 心身、環境ともに準備が整い、退院または転院できる			
	治療 処置		・ 血栓予防のために病院で準備した弾性ストッキングを履きます(看護師が行います) ・ 術着に着替えます 		・ 足の血流を促すため空気圧の器械で足を圧迫します ・ 患部の炎症を抑えるため水囊で冷やします		・ 医師が毎日診察します			・ 術後12日を目途に手術創の保護材を外します 			
検査	・ 外来で採血があります				・ 採血があります					・ 術後7日目に採血、レントゲンがあります	・ 術後14日目に採血、レントゲンがあります 		
薬剤	・ 普段使っている飲み薬、貼り薬、塗り薬をお持ちください(病院で同じものをすぐに用意できない場合があります) 		・ 飲むように指示があった薬だけを飲みます(看護師がお持ちします)		・ 持続点滴と抗生物質の点滴を行います ・ 鎮痛剤が足の付け根のチューブ通して持続的に注入されています 		・ 抗生物質の点滴を行います ・ 医師が足の付け根に入っている痛みどめのチューブを抜きます ・ 普段飲んでいる薬を再開します ・ 鎮痛薬の内服を開始します		・ 血液をサラサラにするためのお薬を開始します 			～ 合併症予防のために ～ 【 1. 血栓 】 からだの血管の中でできた血の塊のことを血栓といいます。血栓が血流によって大きな血管を詰まらせることがあり、肺の血管が詰まると息が苦しくなることがあります。手術後はベッド上で過ごす時間が長いので、足の血流が悪くなり血栓ができやすいといわれています。そのため、弾性ストッキングを履き、フットポンプを付け、ベッド上でリハビリに励みましょう。血を塊にくくするために水をたくさん飲みましょう。肺の血流を促すため、深呼吸をしましょう。 【 2. 麻痺 】 足の向きや置き場が悪かったり、枕による固定を強くしすぎたりすることで神経が圧迫され、足の親指と人差し指の間が痺れる、膝の外側に痛みを感じる、足の指を反らすことができない、などの麻痺症状が出る場合があります。 ☆看護師が定期的に確認を行います。	
食事	・ 食事があります		・ 別紙で説明します 		・ おなかの音、おならの有無を確認したあと、お水が飲めます		・ 朝食から食事を再開します						
安静活動	・ 制限はありません 痛みがある場合は看護師と相談し、杖や車いすを使用します 車いすや歩行器の練習、深呼吸、足上げ運動を行いましょう 				・ ベッド上安静です		・ 病室でリハビリを開始します ・ 立ち上がる練習をします ・ 車いすですり歩室へ行き、立ち上がり歩く練習をします ・ 機械を使って膝関節を曲げる運動をします(手術翌日は朝食前に施行、手術2日以降はリハビリ施行日は1回、リハビリお休み時は2回します) 			・ 特に制限はありません(痛みに応じて) ・ 機械を使って膝関節を曲げる運動をします ※120度まで曲げることができるようになったら終了です			
排泄	・ 痛みにあわせて身障者トイレ等を使用します			・ 手術中に尿管を入れます		・ 痛みが落ち着き、車いすに乗れるようになったら尿管を抜きます			・ 痛みにあわせて身障者トイレ等を使用します 				
清潔	・ シャワー浴できます		・ シャワー浴はできません			・ 看護師が体を拭きます(術後1日目、3日目) ・ 洗面用の蒸しタオルを朝、夕お渡しします(自分で洗面台に行けるようになるまで) 			・ 手術創にテープを貼ったままシャワー浴できます(初回は看護師が付き添います)				
患者 家族 への 説明	・ 担当医、麻酔医が手術、麻酔について説明し、同意書をお渡しします ・ 手術部位の誤りがないよう、手術の部位に医師がペンで印をつけます ・ 看護師が入院、手術準備について説明します ・ マニキュア、ジェルネイルは入院前に必ず落としてください ・ 入院中、転倒・転落に注意して下さい		・ 手術中、ご家族に貴重品の管理をお願いします ・ 手術待合室は本館3階にあります		・ 医師が術後の説明をします ・ 手足の屈伸運動を寝たまましましょう		・ 痛みが強くなったときには看護師へお知らせ下さい ・ 転倒防止のため、移動が安定するまでは看護師が同行します(必ずお知らせ下さい) ・ 尿管を抜いた後、数時間あるいは数日経って残尿感や尿が出づらいことがあれば看護師に知らせて下さい			・ シャワー浴の注意点について看護師と確認します ・ 医師、薬剤師が退院後の生活やお薬に関する説明をします ・ わからないことがあればお尋ね下さい 			

※ この予定表はあくまでもおおよその目安です。個々の身体能力、体調等により手術後の経過は様々です。この表より達成が遅れると治りが悪いということではありません。

※ ご不明な点はお気軽にスタッフにおたずねください。